

天龍木材(株) 平成24年3月期決算の概要

1. 当期業績について

(1) 連結業績

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの復旧等により持ち直しの傾向にありますが、電力供給の問題や欧州債務問題とその影響による円高の進行等もあり、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移いたしました。

住宅関連業界におきましては、住宅版エコポイント制度などの住宅取得促進策の効果から新設住宅着工戸数は84万1千戸（前年同期比2.7%増加）となり、マンションを中心に緩やかな回復傾向にあるものの、依然として低い水準で推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の二年目として更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組むとともに、東日本大震災により被災した当社石巻支店の復旧にも取り組みました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、160億18百万円（前年同期比2.0%減少）となりました。損益面では、本日発表しました取引先に対する貸倒引当金繰入額70百万円等もあり、営業利益3億13百万円（前年同期比35.9%減少）、経常利益88百万円（前年同期比64.7%減少）となりました。また、特別利益として固定資産売却益1億5百万円を計上した一方で、特別損失として災害損失21百万円及び減損損失29百万円を計上したこと等により、当期純利益1億23百万円（前年同期比89.7%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・ 木材事業

木材事業につきましては、震災による影響で石巻支店の本格的な営業活動が平成23年8月からになったものの期末にかけて売上が伸びたこと等から、売上高が前期に比べ増加しました。この結果、売上高は、123億96百万円（前年同期比0.6%増加）、セグメント利益（営業利益）は、3億56百万円（前年同期比19.5%減少）となりました。

・ 建材事業

建材事業につきましては、主要顧客である中小工務店が震災の影響で建築現場での人手不足による工事の遅れ等から、売上高が前期に比べ減少しました。この結果、売上高は、25億78百万円（前年同期比11.2%減少）、セグメント損失（営業損失）は、56百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）9百万円）となりました。

・ その他

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により受注を確保することが出来ました。また、不動産賃貸事業は、計画どおりの収入・収益をあげることが出来ましたが、天龍東京ビル（テナントビル）の賃貸が平成23年8月に終了しました。この結果、売上高は、10億44百万円（前年同期比6.8%減少）、セグメント利益（営業利益）は、13百万円（前年同期比75.8%減少）となりました。

なお、天龍東京ビル（テナントビル）は、平成23年10月17日付で譲渡し固定資産売却益1億5百万円を計上いたしました。

・ 連結業績比較表（連結子会社3社及び持分法適用会社1社）

（単位：百万円）

	当 期	前 期	増 減 額	増 減 率
売 上 高	16,018	16,347	△329	△2.0 %
営 業 利 益	313	489	△176	△35.9 %
経 常 利 益	88	251	△163	△64.7 %
当 期 純 利 益	123	65	58	89.7 %
新設住宅着工戸数	841千戸	819千戸	22千戸	2.7 %

2. 次期業績について

わが国経済は、震災からの復興の動きが本格化し、景気も緩やかながら持ち直していくと予想されますが、海外経済の動向や円高による輸出の伸び悩み等も懸念され、景気の先行き不透明感は依然として残っております。また、新設住宅着工戸数は、徐々に回復していくものと考えております。

当社としては、公共建築物等木材利用促進法等による需要の増加が見込まれる中で、木材事業においては石巻支店製材工場を平成24年4月から本格的に再稼働し、建材事業における昨年10月の仙台営業所の開設とあわせて、震災復興に貢献するとともに販路の拡大を図っていきます。

また、「3ヶ年経営計画～チャレンジ450～」の最終年度として、さらなる収益性並びに財務体質の改善を図るとともに、次の「中期経営計画」の礎となる重要な年度と位置づけ、全社一丸となって経営目標の必達に向けて取り組む所存であります。

こうしたことから、次期の業績見通しは次のとおりであります。

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	8,912	9,297	18,209
営業利益	303	291	594
経常利益	191	186	377
当期純利益	185	178	363

(2) 個別業績予想

(単位：百万円)

	上期予想	下期予想	通期予想
売上高	8,493	8,818	17,311
営業利益	278	264	542
経常利益	190	179	369
当期純利益	186	174	360

3. 設備投資計画について

木材事業を行っている当社石巻支店において、東日本大震災により被災した生産施設及び生産設備の復旧・整備を実施中であります。

区分	投資額	完了年月
事務所	40百万円	平成24年7月中旬完了予定
工場	49百万円	平成23年12月完了
倉庫	42百万円	平成24年4月完了
製材ライン一式	94百万円	平成24年2月完了
その他	15百万円	平成24年3月完了
計	240百万円	

(注) 1. 資金調達方法は、借入金・リース契約及び自己資金他です。

2. 完成後の生産能力は、月産1,000m³です。

4. 配当について

剰余金の処分につきましては、財務体質の改善を進めているところでありますので、当期及び次期の配当を見送らせていただくことといたします。

5. 役員の異動について

本日発表の「平成24年3月期決算短信」の添付資料23ページ「役員の異動」をご覧ください。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値を異なる結果となる可能性があります。

以上